

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2012-229852(P2012-229852A)

【公開日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2011-98238(P2011-98238)

【国際特許分類】

F 24 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 24 F 11/02 104 A

F 24 F 11/02 103 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月31日(2013.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザから動作設定の操作を受け付ける操作手段と、

周囲温度を検出する温度センサ手段と、

空調機側へ動作設定および周囲温度の情報を送信する送信手段と、

前記動作設定の情報の送信タイミングまたは所定の周期で前記温度センサ手段に周囲温度を検出させ、ユーザの操作状態に応じて空調機側へ送信する周囲温度を決定する制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、前記操作手段において操作を受けている期間、前記温度センサ手段による周囲温度の検出を停止し、前記操作手段において操作が開始された時に検出された周囲温度を前記空調機側へ送信する周囲温度とする、

ことを特徴とするリモートコントローラ。

【請求項2】

前記制御手段は、さらに、前記操作手段における操作終了後から当該操作手段が操作されていた期間が経過するまでの期間、前記温度センサ手段による周囲温度の検出を停止し、前記操作手段において操作が開始された時に検出された周囲温度を前記空調機側へ送信する周囲温度とする、

ことを特徴とする請求項1に記載のリモートコントローラ。

【請求項3】

前記制御手段は、さらに、前記操作手段における操作終了後から当該操作手段が操作されていた期間が経過するまでの期間、前記操作手段において操作が開始された時に検出された周囲温度、操作終了時に検出された周囲温度、および現在検出された周囲温度、に基づいて補正した周囲温度を前記空調機側へ送信する周囲温度とする、

ことを特徴とする請求項1に記載のリモートコントローラ。

【請求項4】

前記制御手段は、前記操作手段において操作を受け付けたときを操作開始とし、前記操作手段において所定の期間操作を受け付けなかったときを操作終了とする、

ことを特徴とする請求項1、2または3に記載のリモートコントローラ。

【請求項 5】

さらに、自身の動きを検知する加速度センサ手段、を備え、
前記制御手段は、前記加速度センサ手段において動きを検知したとき、または前記操作手段において操作を受け付けたときを操作開始とし、前記加速度センサ手段において所定の期間動きを検知しなかったとき、または前記操作手段において所定の期間操作を受け付けなかったときを操作終了とする。

ことを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 つに記載のリモートコントローラ。

【請求項 6】

ユーザから動作設定の操作を受け付ける操作手段と、
周囲温度を検出する複数の温度センサ手段と、
空調機側へ動作設定および周囲温度の情報を送信する通信手段と、
前記動作設定の情報の送信タイミングまたは所定の周期で前記複数の温度センサ手段に周囲温度を検出させ、当該複数の温度センサ手段によって検出された検出温度の差分に基づいて補正值を算出し、当該補正值を用いて空調機側へ送信する周囲温度を補正する制御手段と、
を備えることを特徴とするリモートコントローラ。